

Sophos Central Device Encryption

フルディスク暗号化の最も簡単な管理法

毎年、何百万台にもものぼるノート PC の置き忘れや紛失・盗難が発生しており、その多くに重要な機密データが保存されています。フルディスク暗号化とは、これらの出来事が起きた時にデータを保護するため最初に導入すべき対策です。Sophos Central は単一で統合した Web ベースの管理センターからフルディスク暗号化を管理することができます。

主な特長

- Windows BitLocker および macOS FileVault のフルディスク暗号化を単一のコンソールから一元管理
- 暗号化されたドキュメントの共有
- コンプライアンスレポートの証明
- セルフサービスによる鍵の復旧
- ユーザー単位の価格
- すばやい導入

データの確保と準拠の維持

移動の多い従業員の大半は機密な企業情報が含まれたノートパソコンを持ち運びます。パスワードだけではデータの保護にはなりません。データを安全に保管する最善の方法とは、コンピュータのハードドライブを暗号化することです。コンプライアンス要件の一部として、組織のコンピュータが暗号化されていることを確認出来るでしょう。また、ノート PC が紛失・盗難に遭った際は、組織は失ったデバイスが暗号化されていたことを証明する必要もでてきます。

すばやい導入

Sophos Central Device Encryption では、Windows BitLocker や macOS FileVault など、OS 標準搭載のディスク暗号化を一元的に管理できます。Sophos Central の Web ベースの管理により、サーバーを構築したり、バックエンドキーサーバーを設定する必要もありません。数分でデータの展開とデータの保護をします。既存の Sophos Central Intercept X のお客様は、追加のエージェントは必要ありません。OTA (Over-the-Air) の導入では、数回クリックするだけで新しい暗号化ポリシーを適用できます。そして、簡単にリモートのノートパソコンのデータを保護できます。

暗号化されたドキュメントの共有

安全性を維持しているなので、心配なくファイルを共有できます。数回のクリック操作で、HTML 5 wrapper 内にパスワード保護された安全なファイルを作成できます。暗号化ファイルは、正しいパスワードを持つ受信者のみが開くことができ、Web ブラウザと有効なパスワードがありさえすれば、ドキュメントにアクセスできます。さらに、Outlook アドインを使用すると、ユーザーはメールの添付ファイルを暗号化してから、社内または社外の同僚と共有できます。

統合された管理インターフェース

Web ベースの統合された管理コンソールである Sophos Central を使用して、暗号化ポリシー、暗号鍵、およびすべての重要なセキュリティポリシーを管理します。Sophos Central は、すべてのソフォスセキュリティ製品に直感的なビューを提供します。

機能一覧

	WINDOWS	MACOS
BitLocker の管理	✓	
FileVault の管理		✓
クラウドホスト - サーバーの構築不要	✓	✓
エンドポイント、サーバー、ファイアウォールおよびワイアレス保護と同時に暗号化の管理	✓	✓
Sophos Intercept X と同じエージェントを介して利用可能	✓	✓
暗号化されたドキュメントの共有	✓	
セルフサービス型 PIN/パスワード復旧	✓	✓
定期的なPIN /パスワードの変更をユーザーに促す	✓	
コンプライアンス関連のレポート	✓	✓

セルフサービスポータルを介した安全な鍵復旧

Sophos Central Self Service を使用すると、ユーザーは独自のフルディスク暗号化の復旧鍵を取得できます。これにより、ユーザーはヘルプデスクに連絡する必要がないので、より早く仕事に戻ることができ、時間と IT リソースの両方を節約できます。

システム要件

- Windows 7 以降
(Windows BitLocker が搭載されているバージョン)
- macOS 10.12 (Sierra) 以降

無償評価版

無償評価版の登録 (30日間)
sophos.com/ja-jp/central

ソフォス株式会社パートナー 営業部
Email: sales@sophos.co.jp